



陽風園だより

2012年12月
第68号

発行 社会福祉法人陽風園 金沢市三口新町1丁目8番1号 ☎ (076) 263-7101



第30回 全国福祉軟式野球大会
陽風園野球部準優勝

全員野球でいこう

理事長 古田 秀一

季節のめぐりは早いもので、園内の草木に春の芽吹きが感じられたのが昨日のように思われましたが、いつの間にか厳しい夏の暑さを過ぎ、木々は紅葉し、柿がたわわに稔り、小春日に園内のベンチに腰掛ける利用者の皆様の姿を目にします。そして、向陽苑崎浦の改築は基礎工事を終え、三月末の完成に向けて順調に地上部の工事に入っています。

陽風園では、将来を見据えた諸課題に取り組むため、職員が同じベクトルで仕事を進めていく事業運営指針としての経営基本計画の策定をはじめ、在宅福祉サービス事業推進、看取り介護検討、新障害者福祉制度対応、マニュアル統一化等々、年度当初に八つのプロジェクトを立ち上げ、これまで鋭意研究・検討作業がされてきましたが、現在、その結果報告や中間報告が次々と提示されています。この策定プロジェクトには、組織横断的に中堅、若手職員の多くがメンバーとして活躍しており、その報告内容には、新たなものに挑戦していく気概や創意がみられ、職員の前向きな姿勢にうれしくも、ありがたくも感じています。その創意工夫を大事にして、出来ることから順次、スピード感を持って実施に移していくことが、これまで先人が連綿と築き上げてきた素晴らしい歴史と伝統を守ることに繋がるものと思っていますし、園の事業運営は、職員が全員で行っていく、全員野球でありたいとも願っています。

今年度制定した陽風園のキャッチコピー「仁・愛・心 時代とともに 地域とともに」を全職員が心を一つにして体現して参ります。

地域包括ケアシステムと陽風園

在宅事業推進局長 室野慎一

平成二十二年の国勢調査の結果が昨年公表されました。前回の五年前より人口が減少しているのではないかと予測されていましたが結果は五年前よりわずかに増えていました。人口推計をみるとこの年だけが他の年に比べて増えていきます。国勢調査は調査員が実際に訪問しての全数調査ですので信頼度は高いのかもしれませんが、四分の三の市町村で人口が減少するなど日本の人口が減少局面にあるのは間違いないようです。

この調査結果からも六十五歳以上の人口割合が増え、十五歳未満人口の割合が減少して少子高齢化が進行していることが明らかになっています。

昨年成立した消費増税法の説明資料では二〇五〇年には人口が一億人を割り込み、高齢化率が四割近くになるという予測が示されました。

平成十二年に始まった介護保険

制度は急激な高齢化に合わせて改正を重ねながら、高齢者とその家族の生活を支えてきました。その間介護サービスの利用者は三倍に増え、サービスを提供する事業者も通所介護が四倍、通所リハビリが八倍、訪問介護と訪問リハビリが二・五倍増えるなど通所訪問系で特に増え、利用者がサービスを选べる状況になりましたが、同時にその課題も明らかになってきています。増え続ける費用の問題と、サービス供給量もその担い手も確保していけるかという危惧や、高齢者の単身世帯や夫婦だけの世帯が増えるなかで住み慣れた地域で生活し続けることが出来るのだろうかという不安です。

そうした状況の中で、今「地域包括ケアシステム」の必要性が強調されています。介護や医療、生活上の支援や住宅の確保、健康な心身の維持向上を目指す介護予防、権利擁護など様々な支援が二十四

時間包括的・継続的に日常生活の場でつながっていくシステムです。その前提には地域の中に生活ニーズを満たすサービスも情報もあって、生活する人がそこで生活することが幸せだと感じることができるといふことが必要です。

昨年四月の介護保険法の改正では医療と介護の連携を目指したサービスや、安心して暮らせる住居としてサービス付高齢者向け住宅が創設されました。これらの改正は高齢者が地域で安全に安心して暮らし続けていけるための条件を作り出すものです。また地域で互いに助け合う互助の大切さが再認識されていますが、地域での生活を守るために買物の支援や地域での助け合いの取組も始まっています。

地域包括ケアで中心的役割を担うことを期待されているのが地域包括支援センターです。陽風園では金沢市内十九か所ある地域包括支援センターの一つとして金沢市からの委託を受け「みつくちしんまち」を設置しています。みつくちしんまちでは総合相談を中心に

介護予防や認知症予防教室、権利擁護事業、ケアマネージャーが有効な支援を実践できるよう支援する包括的・継続的ケアマネジメント支援事業などを実施しています。また見守りネットワークの構築を今年度から開始しています。

一方では地域包括ケアは非効率であるとか、逆に給付抑制策であるという意見があり、地域社会と家族に過度の負担をもたらすものであるという指摘もあります。そうならないためには、地域包括ケアの中で今あまり触れられていない施設介護を在宅介護との車の両輪として、きちんと位置付ける必要があります。

陽風園では地域での一四〇年にわたる歴史を経て、現在在宅サービスから介護保険施設まで、児童から障害者、高齢者までの幅広いサービスを提供しています。地域や他の事業とも連携することで地域包括ケアシステムの実現にむけて力を発揮することができると考えています。

園 だ よ り
施 設 だ よ り

陽風園

宇宙飛行士

「山崎直子さん」来園

当園では十月十八日、日本人女性では二人目となる宇宙飛行士の山崎直子さんが来園されました。講堂では、利用者・職員にNASA（アメリカ航空開発機構）が編集し、JAXA（宇宙航空開発機構）から当園に提供されたビデオを上映し、関心を深めて頂きました。

その後、山崎直子宇宙飛行士とご紹介を頂いた日本宇宙フォーラムの寺門邦次氏がにこやかに入場され、会場は大拍手、盛り上がりを見せました。山崎直子さんのお話では、幼少期から寒い所で育ち、星を眺める事が好きで星が綺麗だった事、その気持ちの積み重なり「いつか宇宙に行きたい！絶対行ってみたい！」と宇宙飛行士を



目指したそうです。

また宇宙では、無重力であり何かをしても体が浮いて思いどおりの動作が出来ない事や、宇宙船の壁を手で伝い荷物は足の間に挟むなど、手と足が逆転する体験談を聞かせて頂きました。宇宙に行く年齢制限はなく最高七十七才の方が行き、諦めずに夢を叶えた飛行士の話もありました。



そして、寺門さんに宇宙で俳句を一句と勧められ「瑠璃（るり）色の地球も花も 宇宙の子」と詠い私たちも宇宙の一部である事を実感されたそうです。

「重力の条件もなく、魔法のような形で宇宙で暮らす事も夢ではない」と話され、講堂を埋めた皆さんに夢と希望をいただき、利用者の方々と握手をし、会場を後にされました。

今後の山崎直子宇宙飛行士のご活躍を、心からお祈り申し上げます。

第三万陽苑

地域とともに

今年第三万陽苑も十九年目となり、来年は節目の二十年目を迎えることとなります。第三万陽苑では施設入所だけではなく短期入所、通所介護を併設で行っております。通所介護では今まで平日のみの月曜日から金曜日の営業でしたが、今年度四月より利用者及び地域の福祉ニーズに対応し利用者の便宜の向上を図るため、土曜日と日曜日、十二月二十九日から一月三日までの年末年始以外は、祝・休日も営業をすることとなりました。



今までも祝・休日の為に利用が出来ない方、またその為に日を変えて利用をされていた利用者の方たちも毎週定期的に利用をすることが出来るようになりました。これからも利用者・家族のニーズに応えられるよう努力していきたいと思っております。また石川

県の高齢者地域支え合い事業として、第三万陽苑では玄関ロビーにて、ふれあい図書コーナーを開設いたしました。介護・福祉の分野はもちろん、子供向けの本など様々な分野の書籍を準備し、地域の皆様方をはじめ、ボランティアや実習生の皆さんなどが交流や学習の場として使っていただければと思います。またコーナーには図書の他に、Wi-Fi環境の整備、DVD内臓のテレビ、車椅子用カウンター、血圧測定器などが設置してあり、本を読みながらゆっくり過ごしていただけるようになっています。今後はパソコンなどを設置していく予定です。



少しでも介護・福祉の場として、第三万陽苑を身近に感じていただければと思います。

施 設 だ よ り

ハビリポート若葉

グループホームもみじ
トイレ改修工事

このたび障害者自立支援基盤整備事業補助金をうけ、グループホームもみじ（A棟・B棟）のトイレ改修工事を行い、無事完成のはこびとなりました。



施工前
段差もなく安心して使用できると喜ばれています。

利用者さんの高齢化、身体機能の低下によりトイレの使い勝手にも不便を感じていたところに、今回の補助のお話があり、大変有り難く思っています。

これから寒さが一層増す冬場の前に、完成のはこびとなり、利用者、職員とも「ホッ」と胸を撫



施工中

で下ろしています。日常的に一番利用頻度が高いトイレであるだけに、多少使い勝手が悪くても、使用しない訳にもいかず、冷たい便座、足元の段差にも泣く泣く目をつぶっていたのが現状でした。

「汚したのは誰？ちゃんと綺麗に掃除しようよ！」といった日常のやりとりが、新しいトイレに生まれ変わったことで少しでも減るのではと期待しています。

トイレがキレイになると心も自然に明るくなります。利用者さんの笑顔や明るい声が、聞こえてくるようです。

いつも明るい気持ちで過ごせるよう、トイレを大切に使うてもらえると思います。



施工後
掃除ができて暮らした日々が少し減らして

しでも過ごし易くなるよう、これからは不便をひとつずつ減らして行けたらと感じています。

給食課

新調理室を目前に

本園改築整備事業が進み、四十年以上に渡り活躍してきた調理室も、来春には新しい調理室へと移行します。

給食部門ではこれまで、利用者様の食のニーズを尊重し、素朴で親しみのある献立の作成や、調理に工夫を凝らすなど、利用者様に満足していただける食事の提供に努めてきました。今回、移行を機に、より食の楽しみや豊かさにお応えできるよう、最新の調理システム導入を検討してきました。

その中心となるのが「クックチル」という調理方法です。調理後、急速冷却することで食品の長期保存が可能となり、調理時間の問題から限りのあった手の込んだ献立などで実現できるようにします。

また、このシステムでは時間と温度管理が徹底されることから、今まで以上に安全性が確



保されます。



これまでは調理した食材をその日に提供する「クックサーブ」のみでしたが、今後は「クックチル」との併用になります。

これらを適正に運用していくためには、綿密で高度な献立作成や調理行程管理が必要となることから、マニュアル化を進めています。ところで、同時に取り組んでいることがもう一つあります。咀嚼嚥下が困難な方の食事の見直しです。食材を細かく刻んだ形態は誤嚥し易く、また、見た目も悪いことから食欲が低下する等の問題があります。新しい機器やシステム導入により、味・色彩も良く、噛み易く飲み込み易い軟菜食やソフト食への対応も容易になることから、新しい食形態の導入に向け取り組んでいます。

このように新しい調理室開設を目前に、いろいろ模索しながら準備を進めています。新しいシステムを活かして、これからも利用者様にとって安全で、真心のこもったおいしい食事作りに向け励んでいきたいと思っております。

陽 風 園 日 誌

● 8 月

向陽苑崎浦建設工事安全祈願祭
陽風園本園改築整備工事起工式
法話
橋本家・安田家墓参
西照寺墓参 (陽風園)
地藏盆 (陽風園・第二)
夏祭り (万陽デイ・第三)
納涼行事 (三陽)
納涼行事 (花火観賞会) (木曳野)
納涼祭 (崎浦・第二・ハビリ・木越デイ)
みんなで作ろう食べよう会
夏休みチャレンジ教室 (三陽)
癒しの香り湯 (木越デイ)
ひまわりドライブ (ハビリ)
生活給食懇談会
夏のドライブ (第三)
海風浴 (万陽)
縦割り保育終了
一年生との交流会
小中学生との交流会 (みずき)
地域清掃ボランティア
全体レクリエーション (三陽)
菊川・つつじが丘・内川・崎浦
十一屋健康づくり教室 (地域包括)

● 9 月

法話 (陽風園)
敬老模擬店・長寿を祝う会
敬老食事会 (老人5施設・三陽)
福祉のつどい (三陽・ハビリ・あけぼの)
生活給食懇談会 (万陽・あけぼの)
めぐみ保育園児来苑 (第二)
作って食べよう会 (第三)
秋の旅・日帰り旅行 (崎浦・木曳野・三陽)
みなと保育園交流 (木曳野)
あゆみ保育園訪問 (万陽デイ)
健康教室 (木越デイ)
石川県障害者ふれあいフェスティバル (三陽・ハビリ・あけぼの)
敬老歌謡ショー (第三デイ)
希望者旅行 (ハビリ)
地域清掃ボランティア (三陽)
アリス学園学園祭参加 (万陽)
運動会 (みずき)
菊川・つつじが丘・内川・崎浦
大桑・十一屋健康づくり教室 (地域包括)

● 10 月

金沢美生会歌と踊りのさわやかボランティア
山崎直子宇宙飛行士来園 (陽風園)
紅葉喫茶 (万陽)
秋の旅 (各施設)
芋ほり (みずき)
北陸三県救護施設利用者親善スポーツ大会 (三陽)
遠足 (みずき)
ハビリエンジョイピクニック
バンド演奏68訪問 (ハビリ)
紅葉ドライブ (万陽デイ)
交通安全教室
めった汁パーティー (みずき)
内科検診 (みずき)
希望者旅行 (ハビリ)
お楽しみドライブ (第三デイ)
保育参加 (みずき)
あゆみ保育園訪問 (万陽デイ)
みずき保育園交流 (みずき・木越デイ)
地域清掃ボランティア (三陽)
いきいき健康支援 (第三デイ)
菊川・つつじが丘・内川・崎浦
十一屋健康づくり教室 (地域包括)

入園者の変動状況 (8月～10月)

施設名	入園者数 (11月1日現在)	入 所	退 所
向陽苑崎浦	118	4	6
向陽苑木曳野	119	4	6
万 陽 苑	185	27	32
第二万陽苑	149	30	24
第三万陽苑	148	36	29
三陽ホーム	102	5	2
ハビリポート若葉	164	1	0
ハビリポート若竹	36	0	0
あけぼの作業所	44	0	0
みずき保育園	166	4	3
合 計	1,231	111	102

在宅サービス利用状況 (8月～10月)

施設名	事 業	延人数	
万 陽 苑	ショートステイ	529	
	デイサービス	1,161	
	ホームヘルプサービス	722	
	配食サービス	244	
第二万陽苑	ショートステイ	657	
	ホームヘルプサービス	311	
第三万陽苑	ショートステイ	995	
	デイサービス	652	
ハビリポート若葉	ショートステイ	94	
	日中一時支援	6	
	グループホーム知的障害者共同生活援助事業	1,380	
在宅事業推進局	陽風園生活支援センター	760	
	金沢市地域包括 支援センター	予防プラン	1,395
		介護相談	885
	木越デイサービスセンター	1,404	
	木越生活支援センター	120	
木曳野生活支援センター	64		

感謝録

8月～10月

(順不同・敬称略)

ボランティア

金沢ボランティア大学校

(金沢市)

みなと保育園

(金沢市)

あゆみ保育園

(金沢市)

バンド演奏68

(金沢市)

金沢美生会

(金沢市)

めぐみ保育園

(金沢市)

末日聖徒イエスキリスト教会

(金沢市)

ひまわりの会

(金沢市)

歌のあすなろの会

(金沢市)

コスモス会

(金沢市)

あやめの会

(白山市)

慶應義塾大学落語研究会

(神奈川県)

退公連

(金沢市)

葉月の会

(金沢市)

合歡の会

(金沢市)

あおいの会

(金沢市)

内川女性の会

(金沢市)

エイジダンス教室

(金沢市)

新畑 光文 (金沢市)

鹿田裕美子 (金沢市)

高窪千寿子 (金沢市)

村尾 和子 (金沢市)

高井 建三 (金沢市)

寄附物品の部

石川県花商事業協同組合

(金沢市)

松田 善延 (金沢市)

上本 良政 (金沢市)

八日市屋典之 (金沢市)

西本 明弘 (金沢市)

寄附金の部

金沢信用金庫小立野支店

(金沢市)

崎浦地区社会福祉協議会

(金沢市)

崎浦地区民生委員協議会

(金沢市)

崎浦地区町会連合会

(金沢市)

山本 壽嗣 (金沢市)

吉田 耕作 (金沢市)

大岩 清憲 (金沢市)

寺沢 宏 (金沢市)

石田 豊 (金沢市)

北本 廣吉 (金沢市)

小坂 與繁 (金沢市)

平野 繁・美和子 (金沢市)

小高 邦 (金沢市)

下村 洋人 (金沢市)

安藤 静子 (鯖江市)

浅田

その他匿名 二十六名

ご厚意ありがとうございました。

